

ねんかんだい24^{しゅじつ}主日

きょうのふくいん：マタイ18・21～35

みなさま、いかがですか。ながいあいだあっていませんで、きっとみんな、せがたかくなっていて、わからないぐらいでしょうね。せんしゅうみたとおり、ごミサのじかんと日にちはわかりましたでしょうか。ほんとうにみんなのかおをみたいので、ぜひ日ようび、きてね。おねがいしているのはリーダーではない、イエスさまが、みんなにあいたがっているのですよ。

きょうのふくいん、ながいですが、たとえばなしなので、せつめいはほとんどいらぬぐらいでわかるので、ぜんぶかきます。

マタイ18・21～35

そのとき、ペトロがイエスのところにきていった：「しゅよ、きょうだいがわたしにたいしてつみをおかしたなら、なんかいゆるすべきでしょうか、7かいまでですか。」イエスはいわれた。「あなたにいつておく。7かいどころか70ばいまでもゆるしなさい。そこで天のくにはつぎのようにたとえられる。

ある王が、けらいたちにかしたおかねのけっさいをしようとした。けっさいしはじめたところ、一万タラントンしゃっきんしているけらいが、王のまえにつれてこられた。しかし、けっさいできなかつたのでしゅくんはこのけらいに、じぶんもつまもこも、またもちものもぜんぶうって、へんさいするようにめいじた。けらいはひれふし、『どうか、まってください、きっとぜんぶおかえしします』としきりにねがった。そのけらいのしゅくんはあわれにおもって、かれをゆるし、そのしゃっきんをちょうけしにしてやった。ところが、このけらいはそとにでて、じぶんに100デナリオンのしゃっきんをしているなかまにであうと、つかまえてくびをしめ、『しゃっきんをかえせ』といった。なかまはひれふして、『どうかまってくれ。かえすから』としきりにたのんだ。しかし、しょうちせず、そのなかまをひっぱっていき、しゃっきんをかえすまでと、ろうやにいった。なかまはことのしだいをみて、ひじょうにこころをいため、しゅくんのまえにでてじけんをのこらずつげた。そこで、しゅくんはそのけらいをよびつけていった。「ふとどきなけらいだ。おまえがたのんだからしゃっきんをぜんぶちょうけしにしてやったのだ。わたしがおまえをあわれんでやったように、おまえもじぶんのなかまをあわれんでやるべきではなかつたか。」そして、しゅくんはおこって、しゃっきんをすっかりへんさいするまでと、けらいをろうやくにんにひきわたした。あなたがたのひとりひとりが、こころからきょうだいをゆるさないなら、わたしの天の父もあなたがたにおなじようになさるであろう。」

イエスさまはゆるしをつづけることをおしえるために「なかまをゆるさないけらい」のたとえはなされました。たとえの王さまはかみさま、けらいはわたしたちのことです。

わたしたちは、かみさまから、そしてまわりのひとたちから、じぶんのしっばいやよわいところをたくさんゆるしてもらっているのですから、みんなもおたがいにゆるしあいなさいとイエスさまがおしえています。7の70ばいというのは、「ずーっとゆるしつづけなさい」といういみです。

ぼく、わたし、たくさんゆるしてもらって、まいにちすごしています、ですからまわりのひとのことをゆるすことができますように、かみさまにおいのりして、力をいただきましょう。

わたしたちが、まいにちとなえているいのりのなかに「ひとをゆるします」ということばがあるいのりを、おぼえていますか、なんのいのりですか。 (こたえ) _____